

《詩歌》 あいうえおひらがな

アクトン 小一

あかちゃん あさひだ あいうえお
いぎりす いいことあるよ あいうえお
うしの うたごえ あいうえお
えんぴつ えがおで あいうえお
おさかな おはよう あいうえお



【評】とても楽しい歌が作れましたね。イギリスいいこといっぱい
あると先生も思います。

《生活文》 わたしのついで型をこぼす

アクトン 小一

ぼくは、たんぼぼのわた毛にのって、日本のしまねけんのおばあちゃんのところへ行きました。そして、おばあちゃんも一緒にわた毛にのって、日本中をたびしました。

まずはじめに、東京までとんでいって、東京タワーのついでペンまでとんでいきました。すごく高いところまでとんで、ちよっとこわかったです。高いところから見ると、人がアリみたいに見えました。車のブービーという音もおくの方から聞こえてきました。

そのつぎに、ほっかいどうまでとんで行きました。そこでは、かにりょうりをたくさん食べました。おなかがいっぱいになったので、おんせんで休んでひるねもしました。

はやくくく西風によつて、またしまねけんのおうちまで、とんでかえりました。たびのとちゅうで、えきべんをたべました。



おばあちゃんと一緒にわた毛にのってたびができて、ぼくは下キドキしたけどたのしかったです。

【評】順序を表す言葉を使い、分かりやすいとても楽しいお話が書きました。

《詩歌》 まるはなばち

アクトン 小一

まるはなばち まるはなばち
まるくてかわいい
まるはなばち
あたまを花に入れて
ねている
まるはなばち
おしりもまるくてかわいい
まるくてふわふわの
ボールみたいなの
まるはなばち
まるはなばち
まるはなばち



【評】丸くてかわいいマルハナバチの様子が詩で生き生きと表現できました。リズムもよく、声に出して読みたくなります。

《日記》 小さいけれど大はっけん

アクトン 小一

きのう、ぼくとともだちのデスクスタ
ーは、学校の校庭で、むかしのものを
さがすために、あなをほりました。
二十五センチくらいあったところで、
イースターエッグのぎんのつつみがみ
を見つけました。ぼくたちは、



「これは、この学校があたらしいたてものになるまえに、
うめられたにちがいない！大はっけんだ！」

と言いました。とてもかんどうしました。でも先生に、
「学校であなをほってはいけませんよ。」
と、しかられてしまいました。

【評】大発見でしたね。ワクワクしますね。何年前なのでしょうね？

《感想文》 「銀色の裏地」を読んで

クロイドン 小五

私も理緒のようないけんがあります。現地校に転校
生が来た時に、かわいいけれどこわそうな子だと思い、
なかなか話しかけられませんでした。でも、本当は、み
んなにやさしい人で、人は見かけではないんだなと思
いました。

高橋さんは、理緒が一人ぼちな気分になっているの
を感じ、はげます言葉として『銀色の裏地』の話をした
のだと思います。いつもたのしいことは、自分の気持ち
しだいで見つけられると高橋さんは教えてくれたのだと
思います。

【評】自分の経験をもとにして高橋さんのことがよく書けたのは立
派ですね。高橋さんが教えてくれたことを○○さんも生かして
いけるといいですね。

《生活文》 なりきって書こう

「COPIE-MAKER」

フレント 小四

私に来てから一カ月がたった。私はよく使われて、み
んなの中でも一番のがんばりやさん。一カ月たって、ず
いぶん私はおどろえてしまっていた。みんなはまだまだ
元気なのに。私はこの先が短いことが分かっていて。な
ぜならインクがぼぼのこつていないから。

【評】自分を気に入って、大切に使うてくれている持ち主との別れ
の時が近づいていることを感じているペンの気持ちが、心に響
いてきました。